



十一月

# パストラル尼崎

霜月

No.80平成30年10月25日  
〔編集・発行〕  
パストラル尼崎  
尼崎市潮江1丁目10-2  
Tel. 06-6493-0521  
Fax. 06-6493-0301  
発行責任者：山本 弘樹

## ◆十一月の歳時記◆

「文化の日」によせて

大正初期、十九歳でヨーロッパに渡り、三十年間で約六百億円という、けた違いな資金を遣い、その華麗で洒落た浪費ぶりから、ヨーロッパ社交界で「東洋のロックフェラー」「バロン薩摩」と呼ばれていた「薩摩治八郎」という日本人がいた事をご存知でしょうか？

薩摩治八郎は、「木綿王」と言われた祖父の孫として誕生。パリでは、ひと月三千万円という実家からの仕送りで、豪奢な家や別荘を行き来し、上流階級の人々と昼夜交流。純銀製の特注車クライスラーに乗るなど、贅の限りを尽くしました。また、元伯爵嬢の妻、千代を洗練された女性に変身させ、社交界にデビューさせたりと、まるで夢物語のような生活を送っていました。ここまででは、ただの放蕩息子のお話と思いきや・・・

薩摩は、ダンカンやジャン・コクトー、藤田嗣治など芸術家と交



千代

流を深めるかたわら、当時、フランスにいた日本人画家への支援や、才能を認めたら、誰にでも美術、音楽、演劇などの文化後援に惜しみなく私財を投じました。極めつけは、国が資金不足の理由で断念した、パリの「日本館」の建設に、十億円ものお金を、ポンと出した事です。開館式でホテルリッツに三百名の名士を招待、大晩餐会を催したとあり、薩摩の芸術文化への貢献の大きさがわかります。

薩摩治八郎は、流転の末、最期は四国の徳島で再婚した、元ストリップダンサーだった妻に看取られ亡くなります。享年七五才でした。



治八郎

## 「ラジオ体操弥次喜多道中」 ついに京都へ到着！

ラジオ体操参加者の減少に危機感をもち、昨春から啓発の一環として、「ラジオ体操弥次喜多道中」を企画。毎日ラジオ体操に参加することに、スタンプをひとつ押印。京都三条大橋まで完歩するという先の長～い企画でした。

押印ファイルには、宿場町から次の宿場町までの実際の距離が書かれ、自分がどこの宿場まで来たかがわかるようになっていきます。（1日の体操による消費カロリー＝1キロメートルという説を採用）最初は、「京都まで、生きてるかな～」なんて冗談を言いながら、5月9日、一斉に「日本橋」を出発！さてさて、毎日、暑い日も寒い日も、そして眠い日も、毎日参加される皆さまでしたが・・・ついにこの日がやってきました！

9月20日、1年と4カ月をかけ、M様が「京都」まで完歩！M様はこの企画からの参加でしたが、参加されてからのM様の体幹や歩行が、力強くなられた！とスタッフからの評判も上々でした！この日、完歩されたM様の表彰式が、不意打ちで行われました。「恥ずかしいわ～」としきりに照れるM様。



でも、このあと、M様から「今度は、西国三十三所はどう？」・・・汗

## 平成30年度

# パストラルシニア大学



パストラルシニア大学も4年目。今年度も多彩な講師をお迎えし、内容も充実しています。毎回、講師陣からその受講姿勢を絶賛されている皆さま。今年も皆勤賞めざして頑張りましょう。

- \* 毎回フロントにお申込み下さい(席に限りがあります)
- \* 当日は、学生証も忘れずに！

## 【第6回講座】

### 「日本風景街道について」

- ・日時：11月16日(金) 14時～
- ・場所：多目的ホール
- ・講師：国土交通省近畿地方整備局道路部地域道路課 課長補佐 山田 真一 氏

日本には、海外からも絶賛される美しい景色が全国いたるところにあります。今回、画像で見る「日本風景街道」の紹介の他、その取り組みなどをお話頂きます。

